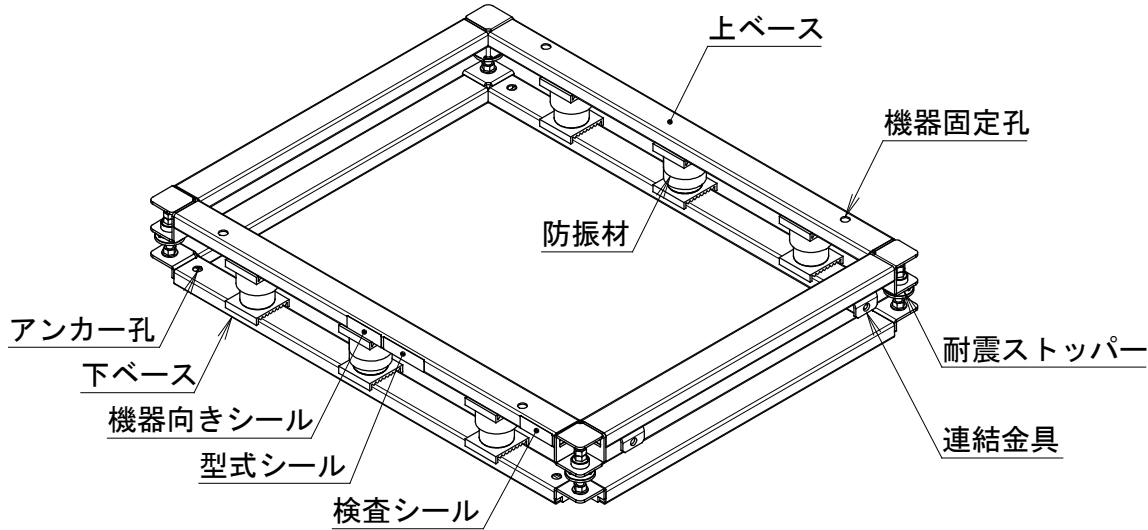


スプリング式防振架台据付要領書

製品型式
TCB-SK2802NA
TCB-SK4502NA

■部位と名称  
右は製品イメージです。  
仕様の詳細や付属品は個別の仕様書をご確認ください。

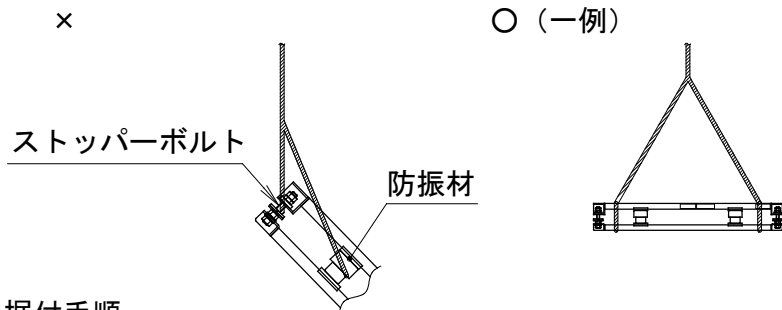
- 締付けトルク参考値
- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 機器固定ボルト          | (M12)：42.5N・m |
| アンカーボルト          | (M12)：42.5N・m |
| 耐震ストッパーボルト(M16)： | 106N・m        |
| 架台連結ボルト          | (M10)：24.4N・m |



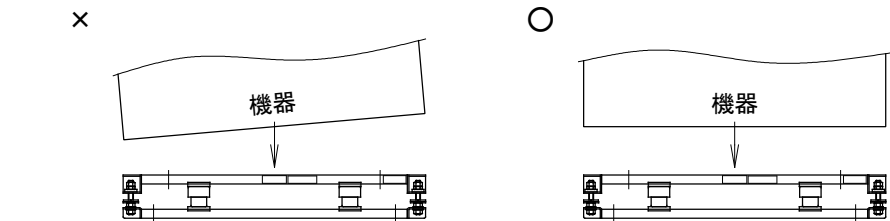
■基礎  
原則的に全面基礎で下ベース全面を支持してください。  
鋼材やゲタ基礎の場合には支持面積をできるだけ広くしてください。  
また設置面の水平は予め調整願います。

■据付ボルト  
耐震基準に応じてアンカーボルトの選定・埋設をしてください。  
鋼材上設置の場合も同様にしてボルトの選定をしてください。  
据付ボルトはダブルナット固定推奨です。

■吊り上げ時の注意  
吊り具をストッパーボルトや防振材に接触させないでください。  
ストッパー機構の不具合や防振材の破損・脱落の原因になります。

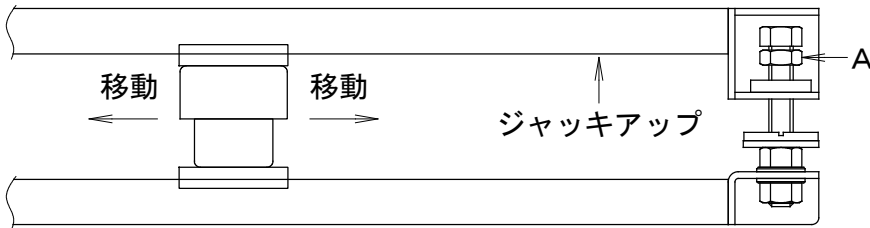


■据付手順  
1. 据付向きの確認  
防振架台本体に機器向きをラベル表示しています。  
2. 機器の搭載  
防振架台上に水平に降ろしてください。  
機器が傾いた状態で架台に乗ると、架台の一部に負荷が集中するため架台や防振材が破損する原因になります。



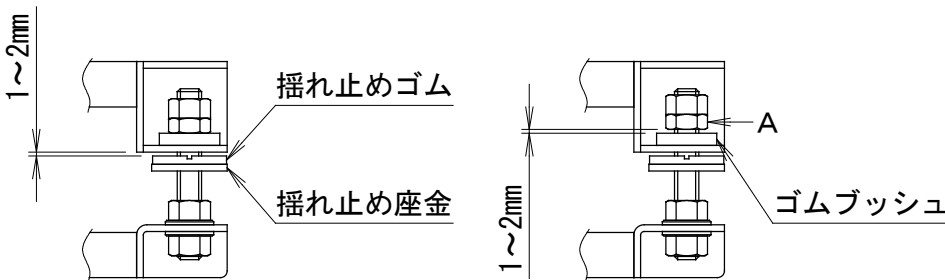
3. 上ベース水平の確認と調整  
機器の重心情報によって防振材を配置しておりますが、機器の個体差や配管・配線、オプション品等の影響で傾く場合があります。  
傾きが顕著な場合には調整をしてください。

- (1) ストッパーボルトのナット(A)を十分に緩めてください。
- (2) 上ベースをジャッキアップしてください。
- (3) 防振材を傾いている方向に移動させてください。



4. ストッパーボルト揺れ止めの調整  
※以下の調整は必ず行ってください。  
調整しないままにしておくと地震や強風で機器が過剰に傾くことがあります。機器据付部や架台に大きな負荷がかかり、思わぬ事故の原因になります。

- (1) 揺れ止めゴムと座金を回して上ブラケットに近づけてください。  
目安：上ブラケットと揺れ止めゴムの間が1～2mm。
- (2) ナット(A)がゴムブッシュに接する程度の位置でダブルナット固定してください。  
目安：ナット(A)とゴムブッシュの間が1～2mm。



5. 架台同士の連結  
※連結のタイミングについて  
架台は機器を搭載する前に連結してください。  
・現場様の環境によっては機器搭載後の連結が困難です。  
・隣り合う架台同士のレベルが合わず連結ボルトが通りづらくなる可能性があります。  
連結部に負荷をかけないため、機器搭載時は上ベースをジャッキで支えるなどして水平を保持してください。

